

# 「理念戦略」策定に向けて II

以下の議事録で説明されている経緯によって「理念戦略委員会」は「理念策定委員会」と「戦略策定委員会」に分けて再発足することになりましたが、その重要性は、いささかも変わりません。「生活者通信」編集部ではこの議論を深め、より多くの会員に参加頂くために、3人の会員の方からの意見を掲載する事としました。3人の意見は方向やフェーズも様々ですが、会員の皆さんが、「理念・戦略」を考え議論して頂く一助にはなるものと思います。

## 都民の会「第2回（最終回） 「理念戦略委員会」議事録

記録文責：杉原健児

日時：5月14日（火） 18:30~21:00

会場：新宿区立リサイクルセンター 4階

出席：大山悦男・梶原光恵・近藤珠甲・佐藤鶴次郎・塩浜修・杉原健児・萩野谷敏明（神奈川県）・長谷川文昭・山本竜司、以上9名。

欠席：阿部悠逸・大谷和夫・河登一郎（埼玉県）・澤井正治・長瀬正彦・山崎康彦。

資料：第2回理念戦略委員会「平成維新運動再建のために」メモ（萩野谷）、第2回理念戦略委員会・提出資料（佐藤）、憲章／最終理念／戦略／戦略目標／戦術（梶原）、第1回理念戦略委員会・議事録（杉原）、理念とは／戦略とは／作戦とは／戦術とは／作戦は戦術より上位概念（山本）、戦略立案におけるフェーズ（段階）（山本）、第2回理念戦略委員会・資料の件（河登）、理念についての素案「みんなで良い国を創りましょう」（大谷）

議事：（司会：杉原）

1. 各自配付の資料に基づいて「提案説明」があった。主な内容を下記に示す。

- 1) 住専市民集会をきっかけに、首都4団体による相互交流・共同行動が高まった。
- 2) 会が指向する政策を誰にでも分かりやすい言葉を示す必要がある。
- 3) 会員各自の活動参加から得られる充足感の向上を図る必要がある。
- 4) 会がマスコミや国民一般から「よくやっている」と思って貰えること。
- 5) インターネットなど、広報上の効果的ツールの発見と利用が不可欠である。
- 6) 首都圏4団体に、明確な「共通運動テーマ」が必要である。
- 7) 「情報公開市民運動」を取り上げたい。
- 8) 公正公明を基本とした「税金問題」を取り上げたい。
- 9) 私利私欲なく日本及び世界の人々と協力して

新しい世紀を築くこと。 10) 道州制／行政改革／福祉／住専／薬害エイズ／情報公開／教育改革、等の追求。 11) 特殊法人整理 不要公共工事中止 1票の格差是正 運動資金確保、等の追求。 12) 理念とは、目指すべきゴールである。 13) 戦略とは、理念を実現する為にいくつかのフェーズ（段階）に分け、各フェーズ毎にやらなければならないこと（目的）と、資源の配分を決めること。 14) 戦略とは、力を集中させるための共通コンセンサス。 15) 第1「啓蒙フェーズ」コア議員の養成：受け皿の育成、コアマンの育成。 16) 第2「力の結集フェーズ」議会における多数派の形成←圧力団体の形成。 17) 第3「政策の実現フェーズ」国会・行政の運営・舵取り。 18) 作戦とは、戦略における各フェーズの目的を達成させる為の一連の行動（企画）。 19) 戦術は、各作戦を成功させる為のテクニック。 20) 民主主義／国民主権／法治国家とはを、憲法の基本から考え直す必要がある。 21) 4大理念案：1. 民主主義の徹底／2. 生活者優先／3. 地方主権／4. 世界との共生。 2. 上記「提案説明」を基に自由討議を行ったが「理念」「戦略」「作戦」「戦術」が混乱しての議論に終始した。従って「理念／戦略」を一緒にしてこれ以上議論を続けることは、効率的ではないと判断して、本委員会を発展的に解散することとした。今後は「理念策定委員会」と「戦略策定委員会」に分けて再発足することとした。

3. 会議後「祭り茶屋一番」で懇親会を行った。出席者7名、22:30頃まで。

## 私の提案

山崎康彦

1. 平成維新を実現する都民の会の理念策定に向けたアプローチの仕方  
アプローチの仕方は、2通りあると思われます。